

川内原子力発電所 1、2号機の再稼働について

平成26年10月28日

薩摩川内市長 岩切秀雄

- 1 川内原子力発電所1、2号機の再稼働について、私の考えをご報告します。
- 2 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、福島第1原子力発電所の事故が発生し、その後、我が国の全原子力発電所が停止し、原子力発電所に対する国民の不安が高まったところであります。
- 3 このような中、国においては、原子力規制委員会を設置され、福島事故の教訓や最新の科学的・技術的知見、IAEA等の国際基準等を踏まえ、「世界で最も厳しい水準」とされる「新たな規制基準」が施行されました。

- 4 この規制基準により審査された、川内原子力発電所1、2号機の再稼働については、法令に基づいて求められる安全性が確保されたとして、去る9月10日に原子炉設置変更許可がなされました。また、国としても、エネルギー基本計画に基づき再稼働を進めることとされました。
- 5 去る10月9日に開催した、住民説明会では、審査に携わった原子力規制庁の職員により、九州電力株式会社の対策が、新しい基準に適合していることを、市民に対しわかりやすく丁寧に説明をいただいたところです。
- 6 これらを踏まえ、私は、経済産業大臣、経済産業省 資源エネルギー庁長官、環境省 原子力規制委員会 原子力規制庁長官、内閣府政策統括官（原子力防災担当）にお会いし、それぞれの所管事務について確認をしてまいりました。
- 7 一方、九州電力株式会社の社長とも面会し、再稼働することとなった場合、安全で安定した運転を行い、市民の安全・安心の確保のため、万全を期すよう強く要請し、確認をしてまいりました。

- 8 また、市議会におかれましては、川内原子力発電所対策調査特別委員会において、慎重かつ丁寧な審議をされ、その報告に基づき、先程、本会議において、賛成多数をもって再稼働を求める陳情を採択されました。
- 9 私としても、市民の代表である市議会が、慎重かつ丁寧な審議をされたことを高く評価し、尊重したいと考えています。
- 10 このようなことから、エネルギー基本計画に基づき、国の責任のもと、「川内原子力発電所の再稼働を進める」とされた政府の方針について、立地自治体として理解することと判断しました。
- 11 再稼働に関し慎重な立場の市民の方々の思いを考えますと、苦渋の決断ではありますが、市民の安全・安心の確保を図るため最善の努力をしてまいりたいと考えております。